

環境にやさしい千葉西高校風力発電機についての報告

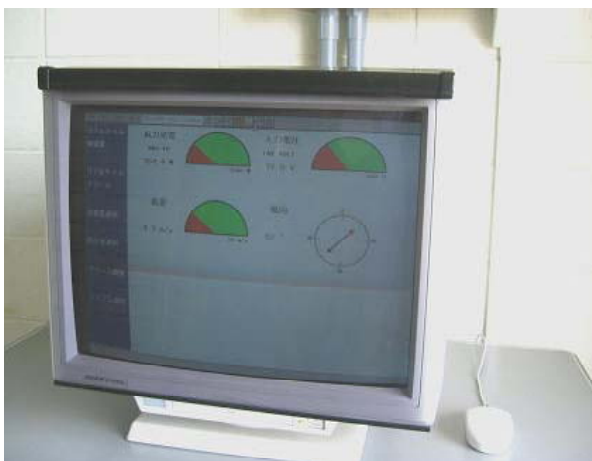
平成17年6月、千葉西高校(昭和59年開校)に風力発電機が、創立二十周年記念事業環境整備の一つとして設置されました。風力発電によって生じた電力で、写真にあります部室棟の電力消費を賄っています。この風力発電機は、この海浜地域に吹く風を利用して、平均2キロワット(設置会社発表)の発電量で、発電した電気は屋内配線をととして各機器へ流れていく仕組みとなっており、風が無くプロペラが回らない時には、電力会社の供給する電気を利用する仕組みとなっています。これは、蓄電池を利用しない系統連携という方法で、環境に優しく地球温暖化防止にも一役買ったシステムといえます。そして風力発電が、日本の風の強い地域で、化石燃料を使用しないクリーンで安全なエネルギーとして普及しつつある今日、西高の風力発電機は、千葉県の教育施設では、最初で最大のものであります。新しい西高のシンボルとして、また、本校における重要なエネルギー源としてその価値を高めていくことと思います。刻々と変化する発電電力の様子は、リアルタイムにモニターで見ることができます。

また、発電した電力を活用して製氷機(夏季)や照明灯(日暮れ～20時)を稼働させ生徒の健康の維持や安全に役立っています。

1 風力発電機 & 部室棟と体育祭参加の生徒 H.17.9.15.



2 モニター (各データをリアルタイムで見れる) 3 製氷機 (真夏の部活動で大活躍)



4 夜間照明（日暮れ～20時：冬場の帰り道の照明と風力発電機のライトアップ）



4 工事の記録

